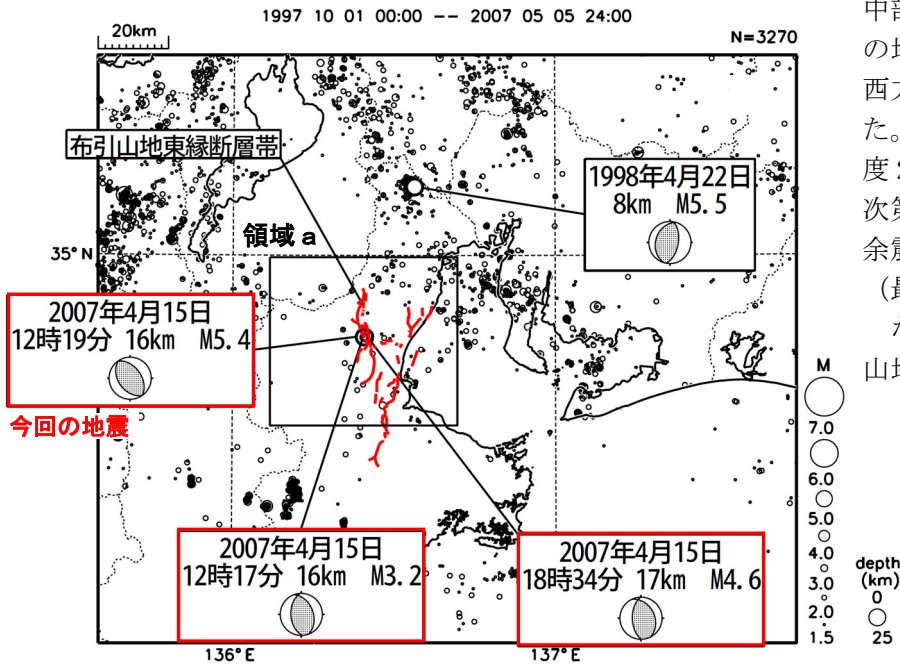


4月15日 三重県中部の地震

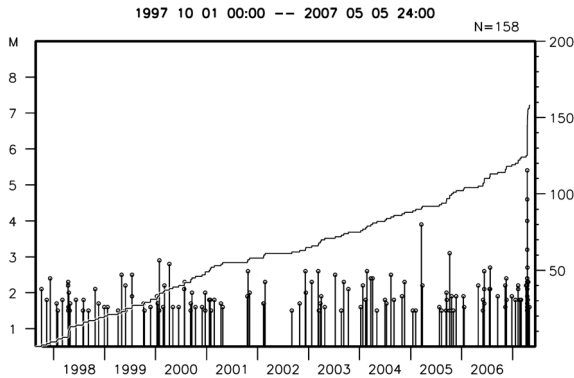
A 震央分布図 (1997年10月以降、 $M \geq 1.5$)



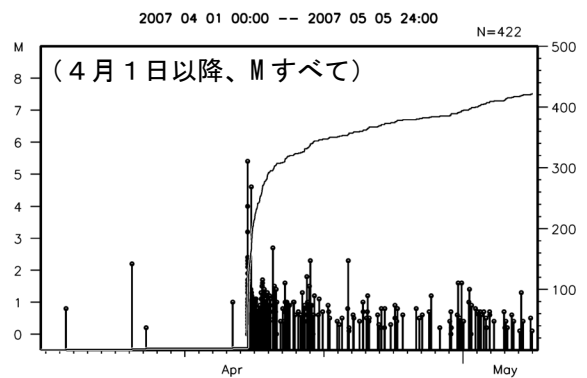
2007年4月15日12時19分に三重県中部の深さ16kmでM5.4(最大震度5強)の地震が発生した。発震機構は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。本震の約2分前には、M3.2(最大震度2)の前震が観測された。余震活動は次第に減衰しており、これまでの最大の余震は15日18時34分に発生したM4.6(最大震度4)の地震である。

なお、今回の地震の震源付近には布引山地東縁断層帯がある。(A)

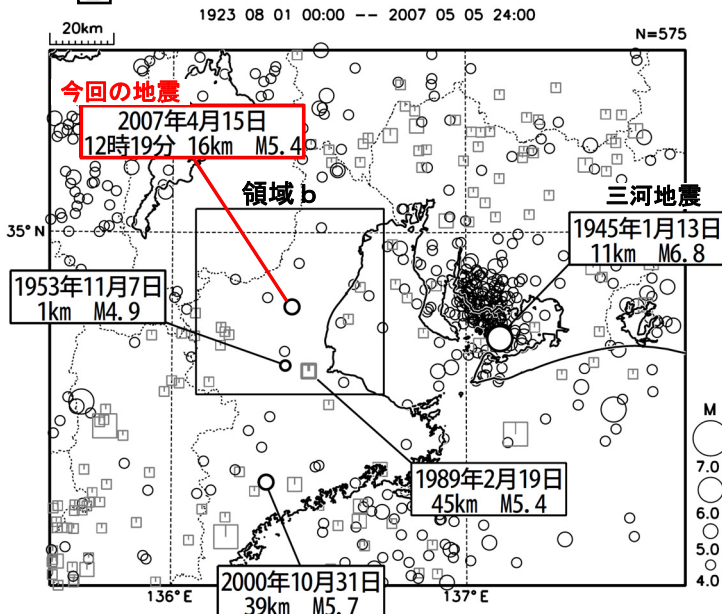
領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図



領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図



B 震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 4.0$)



1923年8月以降、今回の地震の震央付近では、1989年2月19日にM5.4(最大震度3)の地震が発生しているが、陸域の浅い地震では今回の地震が最大規模である。(B)

領域 b 内の地震活動経過図

